

2022 年度  
(令和 4 年度)

学校関係者評価報告書

2022 年 9 月

学校法人 国際文化アカデミー  
JTB トラベル&ホテルカレッジ

## 1、学校関係者評価

### (1) 目的

- ① 自己評価の評価結果の客観性・透明性を高める。
- ② 専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

### (2) 評価のポイント

- ① 自己評価結果の内容が適切か
- ② 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策が適切か
- ③ 学校の重点目標や評価項目が適切か
- ④ 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か

### (3) 評価期間

2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日）

### (4) 評価結果の公表・活用

- ① 評価結果や今後の改善方策等を公表する。
- ② 評価結果を改善方策の検討に活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的な改善を図る。

### (5) 学校関係者評価委員会の構成

#### ① 学校関係者評価委員 4名

氏名	種別	所属	役職	任期
傳寶 貴子	企業	(株)京王プラザホテル	人事部人事支配人	3年
齊藤 一郎	地域	巣鴨信用金庫	本店営業部 部長	3年
飯塚 裕美	卒業生	三井不動産 株式会社	(同窓会会長)	3年
濱部 紗智奈	企業	(株) J T B	人事部人財開発マネージャー	3年

#### ② 学校経営者層教職員 3名

氏名	所属	役職
坂本 友理	JTB トラベル&ホテルカレッジ	常務理事 校長
井上 聡	JTB トラベル&ホテルカレッジ	常務理事 総務部長
堀口 由美子	JTB トラベル&ホテルカレッジ	教務部長

(6) 学校関係者評価委員会の実施状況

- ① 日時 : 2022年8月24日(水) 15:00~17:20
- ② 場所 : JTB トラベル&ホテルカレッジ 図書室
- ③ 参加者 : 学校関係者評価委員及び学校経営者層教職員
- ④ 配布資料 : 2021年度自己評価報告書
- ⑤ 議題 : 2021年度の自己評価について

2、実施方法(評価)

(1) 『専修学校における学校評価ガイドライン』に沿って実施した『2022年度自己評価報告書』について、学校関係者教職員から基準毎(1~10)について説明を行った後、学校関係者評価委員が点数化し、その平均点(小数第2位を四捨五入)を記載した。(自己評価についても、各項目の平均点を記載した。)

(2) 基準毎の評価点は下記の通り

- 4点 : 適切
- 3点 : ほぼ適切
- 2点 : やや不適切
- 1点 : 不適切

(3) 学校関係者評価委員からの質問、意見等を記載した。

3、評価結果報告

【基準1】教育理念・目的・人材育成

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
1-01	理念・目的・育成人材像	4.0	4.0

(質問・回答)

・(P5)「多様化するツーリズム産業に貢献できる人財と輩出」とあるが、「人財」という記載をしている理由は？

⇒JTBグループ(当校)の最大の財産は「人」であるとの思いから、あえて「人財」という表記をしています。

(意見)

・1-1-3 JTBグループの特色を活かした教育活動(プログラム)として、旅行・宿泊のみでは無く、在外支店・インバウンド対応部署、デジタル専門部署などと連携を図り、その領域の広さを活用してほしい。

【基準2】 学校運営

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
2-02	運営方針	4.0	4.0
2-03	事業計画	4.0	
2-04	運営組織	4.0	
2-05	人事・給与制度	4.0	
2-06	意思決定システム	4.0	
2-07	情報システム	3.8	

(質問・回答)

・(P12) 2022年度から実施の組織体制変更(学生募集部を入学相談室とし、教務部内に設置した)の背景と効果は?

⇒背景としては、①入学から学習・進路・卒業までを教職員が一貫して対応することで、学生と深く関わり学校生活の充実化を図ること、又②教職員の一体感を高め少数精鋭での対応を図りコストコントロールを行うこと。効果については、まだ開始したばかりであるが、模擬授業などを教職員一体になって取り組んでおり、次年度入学者増加への期待がある。

・(P12)実授業とオンライン授業の割合は?

⇒オンライン授業は、当初は緊急事態宣言により必要に迫られ実施し、およそ年間で延べ60日程度行った。オンラインによるメリット・デメリットが、明らかになってきたので、今後はそれを踏まえて実施していきたい。

(意見)

・2-7-1 システム活用は、あえて厳しく自己評価していると思う。現状の取組を考慮すると「4」評価でも良いと思う。

・2-4 募集(入口)から就職(出口)を一気通貫で行うことは非常に有効と思う。

【基準3】 教育活動

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
3-08	目標の設定	4.0	4.0
3-09	教育方法・評価等	3.9	
3-10	成績評価・単位認定等	4.0	
3-11	資格・免許の取得の指導体制	4.0	
3-12	教員・教員組織	4.0	

(質問・回答)

・(P18) 課題としてあげている「(学生の) 反応が薄い、反応がない受け身の姿勢が散見」への対策は？

⇒コロナ禍において制限されていたが、グループワークやディスカッションなどを少しずつ増やし表現力や積極性を身に着けさせている。オンライン授業では、他の学生を気にして反応が無いことがあるので、学生の意見を吸い上げやすい雰囲気を作るなどの工夫を行っていききたい。

(意見)

・データマーケティング講座など、さまざまな業界で活用できる授業は学生のためになると思う。

・新設科目はどれも時代の変化に対応しており非常に素晴らしい内容となっている。コロナの状況が改善された後は、双方向性を重視してすすめてほしい。

・実習の場は店舗に限らずスポーツイベント・エンタメイベントなど他にも広げてみてほしい。

#### 【基準4】学修成果

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
4-13	就職率	4.0	4.0
4-14	資格・免許の取得率	4.0	
4-15	卒業生の社会的評価	2.5	

(質問・回答)

・(P26) コロナ禍における就職率 100%は素晴らしいが、入学時に希望していた分野(職種)に就職は出来ているのか？

⇒コロナ禍で、求人が無かったり、時期が遅くなったりしたケースがあり、入学時に希望していた分野以外へ就職した学生もいた。進路指導としては、ハローワークなどのサポートを受けるなど、非常に悩ましい一年間であった。就職 100%となったのは、学生本人が真剣に向き合った結果であると思う。

(意見)

・このような状況下、就職率 100%は学生・学校双方の努力の賜物であり、非常に素晴らしい内容と感じる。オンラインには慣れている世代と思うが、面接訓練では具体的アドバイスなどを引き続き継続してほしい。

【基準5】 学生支援

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
5-16	就職等進路	4.0	4.0
5-17	中途退学への対応	4.0	
5-18	学生相談	4.0	
5-19	学生生活	4.0	
5-20	保護者との連携	4.0	
5-21	卒業生・社会人	3.0	

(質問・回答)

・(P33) コロナ検査(抗原検査)キットなどは常備されているのか?  
 ⇒東京都から検査キットは送られてきたが、保健師と相談し未使用としている。万が一、学校で陽性になった場合、帰宅できないなどの状況も考えられるので、登校前に自宅での検温を実施し、無理して登校させず、かかりつけ医への受診を推奨する対応を図った。

(意見)

- ・とても手厚いフォローがされていて、先生方も苦労が多かったのだろうと感じた。
- ・(当社へ)入社後の卒業生は、やや幼いところが見受けられる。学校での指導のバランスは難しいと思う。
- ・きめ細かな対応で退学率の低下を継続してほしい。

【基準6】 教育環境

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
6-22	施設、設備等	3.9	3.75
6-23	学外実習、インターンシップ等	4.0	
6-24	防災・安全管理	4.0	

(意見)

- ・学校の特徴でもある実務研修がオンラインになることは大変残念である。早く実務研修が出来る状況になることを願っています。
- ・防災に関して、学校内での避難訓練以外にも通学途中や自宅など、様々なケースを想定した備えや教育なども必要かと思う。
- ・ダイバーシティの観点から学校設備のバリアフリー化やオールオンライン授業化について検討してほしい。

【基準7】学生の募集と受入

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
7-25	学生募集活動	4.0	3.75
7-26	入学選考	4.0	
7-27	学納金	4.0	

(意見)

・募集活動については、Z世代特有の情報収集過程（TikTokなどの活用）を理解し、在校生と一体となって進めてほしい。

【基準8】財務

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
8-28	財務基盤	3.9	4.0
8-29	予算・収支計画	4.0	
8-30	監査	4.0	
8-31	財務情報の公開	4.0	

【基準9】法令等の遵守

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	4.0	4.0
9-33	個人情報保護	4.0	
9-34	学校評価	4.0	
9-35	教育情報の公開	4.0	

【基準10】社会貢献、地域貢献、国際交流

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
10-36	社会貢献・地域貢献	2.9	4.0
10-37	ボランティア活動	4.0	

(意見)

・コロナの状況が改善したら、地元と協力したコンテンツ開発や学校・学生の理解が進むような取り組みを再開してほしい。

## 【全体】

(全体を通しての意見)

- ・コロナの影響により、学生の安全確保やオンライン授業対応など、学校運営に尽力されている状況が伝わった。
- ・評価の付け方については、「現状の中で出来ているか」という認識のもと評価をつけられている点について賛同した。
- ・厳しい就職面についても、就職率 100%達成は、学校・学生の頑張りの評価だと思う。
- ・ハローワークへの相談や入社 3 年以内の学生に対する相談受入れなど、学生に寄り添う取り組みを理解することが出来た。
- ・ツーリズム産業全般への不安、18 歳人口の減少など逆風もある中で。就職率 100%を達成し、退学率も低減するなど、日々の取り組みがしっかりと結果に繋がっていると思う。
- ・課題を抽出し素早く対応されている。引き続き意思決定のスピードを保ちつつ、時代に即したカリキュラム形成と学生支援を継続してほしい。

以上